

連日の猛暑に一気に夏の到来を感じる今日この頃、皆さまいかがお過ごしですか？看護キャリア開発センターでは、慌ただしく新年度を迎え、気が付けばすっかり夏、という感覚です。センター通信は、今号が今年度初の発行になります。

令和6年度に入ってから、あっという間の3か月、主に特定行為研修関連の活動内容をご覧ください(^^)

Check

活動報告（令和6年4月～6月）

特定行為研修

4月 開講式

急性期医療コース3期生(4名)と、地域医療コース9期生(10名)の開講式を執り行いました。野澤梨花さん(7東)が受講生を代表し、宣誓しました。



4月～6月 区分別研修(スクーリング)

地域医療コース8期生(9名)の各特定行為区分のスクーリングを実施しました。

今年度も、各区分の講義や演習、質問対応には、診療科の先生方、附属病院看護部の認定看護師や特定行為研修修了者の皆さんにご協力いただきました。

受講生はシミュレーター等を使って何度も繰り返しトレーニングを重ね、OSCE試験をクリアし、現在各自が勤務する病院等で実習に取り組んでいます。



気管カニューレ交換
麻酔科 水本先生



脱水症状に対する輸液補正
救急科 中島先生



胃ろうチューブ交換
第2内科 瀧先生



高カロリー輸液の調整
救急科 宮本先生



褥瘡の壊死組織の除去
看護部 関副看護師長

研修の内容を詳しく知りたい方は、当センターまでご質問ください♪



PICC挿入
9東 小谷副看護師長
10東 尾崎さん



次のページも
あります →

Coming
Soon

今後の活動予定

オンライン研修



昨年度に続き、今年度も県内の地域・在宅医療にかかわる看護職に向けて実施します。附属病院看護部の専門看護師・認定看護師の皆さんにご協力いただき、3テーマを令和6年11月～令和7年1月に配信予定です。

看護師受け入れ研修

県内の地域医療にかかわる看護職を対象におこなう、体験型の研修です。今年度は「感染管理」「状態変化時の初期対応」の2分野3コースを実施します。



キャリア支援座談会

附属病院・紀北分院で働く看護職の皆さんや保健看護学部の学生さんのキャリア支援を目的に、今年度も4回の座談会を企画します。

看護学生のキャリア支援 (附属病院における ジョブシャドウイング)

保健看護学部の3年生を対象に、令和7年1月の3日間と、2月の3日間で病棟でのジョブシャドウイングを企画しています。日程が確定次第、詳細をご紹介します。ご協力のほどよろしくお願いします!

潜在看護師復職支援

コロナのため、一時休止していた潜在看護師復職支援プログラムが復活します!!より具体的に、復職に向けた支援ができるよう、企画内容を見直しました。身近に働いていないナースがおられる方は、ぜひおすすめください! 詳しくは看護キャリア開発センターHPでご確認ください。

New

特定行為研修についてもうちょっと興味を持っていただける情報を発信!

【連載企画 特定行為研修】第1回 特定行為ってなんで必要なん?

特定行為研修制度は、少子高齢多死社会が進むことに備え、手順書により一定の診療の補助をおこなうといった、高度で専門的な知識・技術を持ち、チーム医療のキーパーソンとなれる看護師を養成することを目的に、平成27年に創設されました。

「手順書によりおこなう一定の診療の補助」とは、これまで基本的に医師または歯科医師が実施していた医行為のうちの一部(38行為)で、「特定行為」といいます。特定行為をおこなうための「高度で専門的な知識・技術」を修得するためのプログラムが、「特定行為研修」です。

特定行為を実施するということは、医師がおこなう医療行為の一部を看護師が担えることとなりますので、おのずと医師のタスクシェアが実現します。特定行為はこういった側面が強くアピールされがちで、「医師の負担を軽くするために、私らの業務範囲を広げるほどの余裕ないわ」「特定行為ってほんとに必要なん?」と思ってしまうですね。

では、看護師が特定行為を実施することは、医師のタスクシフト・シェアだけが目的なのでしょうか?



日本看護協会は、特定行為研修制度について、次のように述べています。

「特定行為研修を修了した看護師は、特定行為のみを行うのではなく、連続した看護の関わりの中で特定行為を実施することにより、人々が安全で質の高い医療を時宜(じぎ)を得て受けられることに貢献する。」

つまり、患者の療養の場で、一番近い存在の私たちだからこそわかる、「その患者にとってのベストなタイミングに、特定行為を安全に実施することで、質の高い医療の提供につながる」ということです。

「このCVカテ、まだ必要な?」「SpO₂下がってるけど、血ガス採った方がいいよね…」などなど、感じる場面がありませんか?

そんな時に、自分がしっかり患者さんの状態を診て、判断し、CVカテを抜去したり、血ガス採血ができたなら…特定行為は学びを現場で活かし、今の看護をアップデートするために必要といっても良いかもしれません。